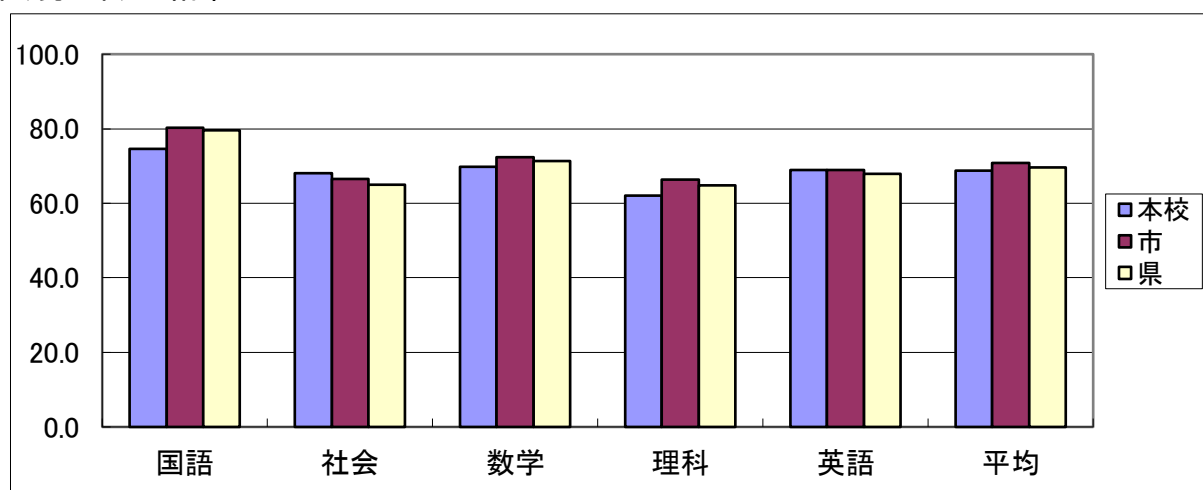


## 令和元年度 鹿児島学習定着度調査の結果

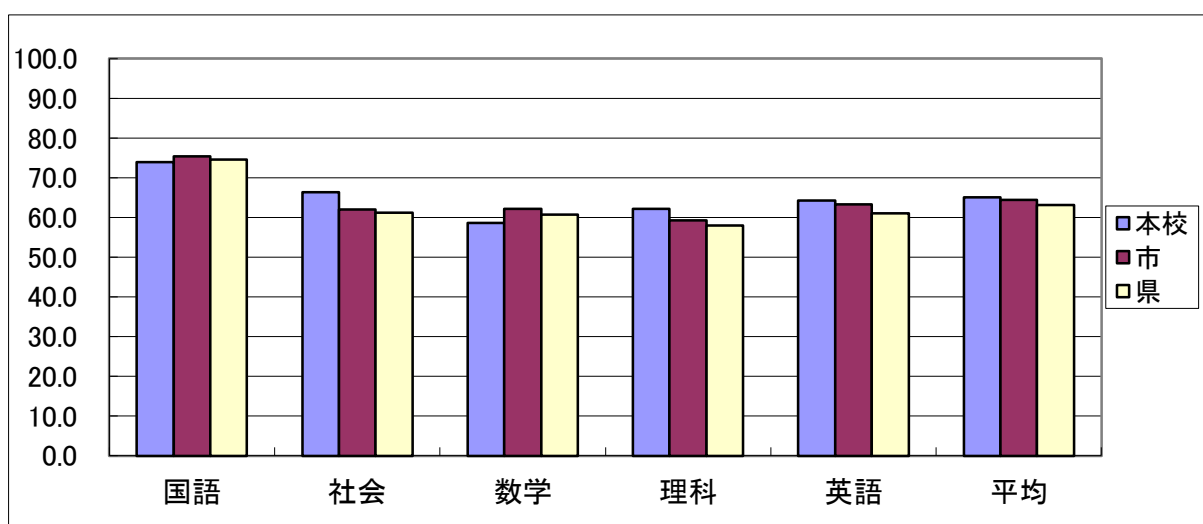
鹿児島市立天保山中学校

令和2年1月15日(水)、16日(木)に実施された、鹿児島学習状況調査の結果をお知らせします。この調査は、県内の生徒の学力の定着について、客観的なデータの把握・分析を行い、学力向上に資する目的で行われるものです。本校でも、教科ごとに、自校の課題を明確にとらえ、今年度の学習指導に生かしてまいります。以下、各教科ごとの平均通過率(本校、市、県との比較)のグラフと改善策を示しています。

## 1年(現2年)の結果



## 2年(現3年)の結果



## 【課題(通過率から)】

- ・1年(現2年)、2年(現3年)ともに国語の「思考・表現」に関して、県の平均を下回っている。
- ・1年(現2年)、2年(現3年)ともに数学は「基礎・基本」「思考・表現」の両領域について、県を下回っている。
- ・どの教科においても、無回答率が高い点が、顕著に見られた。

## 【今後の取組と改善策】

- ・通過率の低かった内容や領域については、定期テストや毎時間の小テスト、再テストなどで繰り返し復習を実施し、定着を図る。
- ・数学は無答率が高いため、問題数をこなす訓練を継続して行い、最後まであきらめずに取り組む力をつける。
- ・授業のなかで練習問題に取り組む時間を確保し、必要に応じて個別指導の充実を図る。
- ・週末課題を与えることで、自宅でも多くの課題に取り組む機会を増やす。
- ・英語は、英検の取得者数を増やす工夫を行い、学力の底上げを図る。